

子に代つて女子勞務者と廣範圍に利用することとを必要とする状況にある。

二、然し乍ら重労働等については工鑛業が勞務者と特に農村に求めること切なるものあるを留意せねばならない。

而して工業の地方分散は農村勞力の流出又自然流出の現象を惹き起し屢々勞務の計畫配置を困難ならしめてゐる。殊に現下の勞務統制の対策として困難なのは人夫、日傭といふ形態である。これは勞務の供給の側に於ける組織が確立されない爲に勞務の自由市場を存するのに等しく、それは多くの不合理を生じて農工共にこれによつて悩むこと著しい。

三、一方個々の工場は勞務者を生産増強に役立つ如く管理することより、勞務者の募集確保に大なる努力を拂つてゐる状態である。勞務の割當し時に合理性を欠く場合なしとしない。勿論、軍需工業に出来得る限りの勞務者を供給し、勞務者としての生産の隘路たうしめおることには絶対に必要である。然し個々の工場が必要以上の勞務者をその手に收め過剩な勞務の保有があつてはならない。それは結局他の工場或は農業に於ける勞力の不足となり全体の生産の阻害となる。是れ故個々の工場の自滿によつて全体としての勞務配置が適正を得ることは戦力増強の爲の重要課題である。

一三、戦時農業要員指定の制度は斯の如き段階に採ら